

サツキの育て方(1) — 年間管理 —

サツキは、関東以西の低い山地の岩場や河岸に自生し、寒さに強く、多くの品種が作り出されています。その数は2000品種にもものぼり、花柄、花形、花色が豊富で、盆栽、庭園樹、生垣用と幅広く利用されています。

植え替え

鉢植え 2～3年に1回行います。用土は、鹿沼土単用か、それに小さくきざんだ水苔を1割混合したものが適当です。古い根鉢を2/3の大きさに切りつめ、表面を軽くほぐし、株元を少し盛り上げて植え込みます。植え付け後は十分灌水し、2～3日間は遮光下で乾かないよう管理します。

庭植え 庭土に腐葉土を約3割混ぜたものを用土とします。植え付け後は乾きすぎないように注意します。

剪定 (図1)

花が終わったらすぐに行い、6月末までに済ませます。樹形を考えながら、こみすぎた枝を間引きます(各枝に均一に日が当たるようにする)。また、新芽を多くし、花付きを良くするために、残した枝の芯止めを行います。

さし木(図2, 3)

採取したさし穂は、調整後約30分水に浸してからさします。さす時は1本ずつさし床に穴を開け、ていねいに扱います。さし穂の間隔は約1cmとします。さし木後約2週間は遮光下で乾かささないよう注意し、その後徐々に日に慣らして4週目からは直射日光下で管理します。さし木後約2ヶ月で鉢上げ可能となりますが、真夏と真冬は避けて行います。

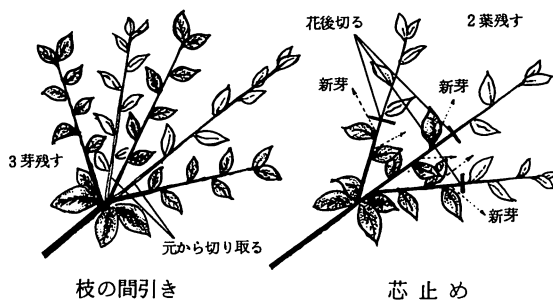


図1 剪定の要領

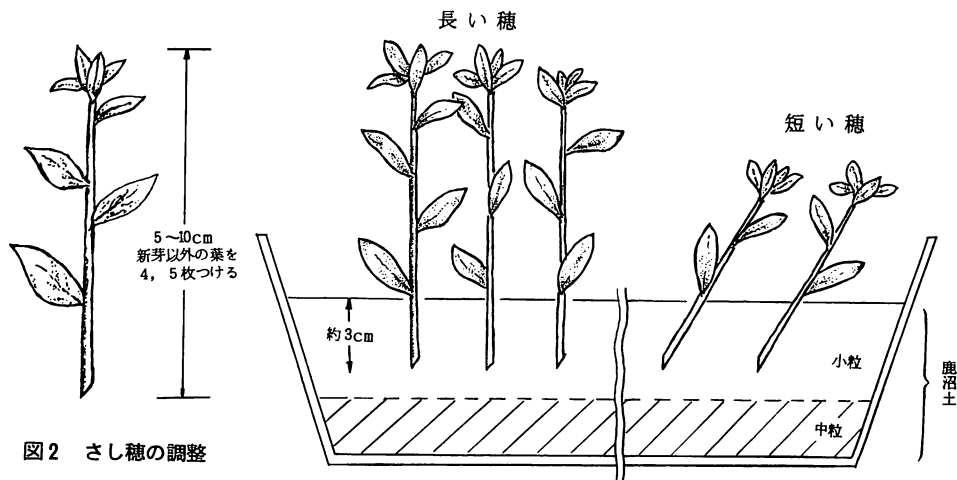


図2 さし穂の調整

図3 さし木の要領

サツキの育て方(2) — 栽培カレンダー —

サツキの栽培カレンダー

事項	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
生長経過							発芽		展葉		開花		花芽分化																
置き場所	霜, 風の当たらない所						戸外(日光に十分当てる)																						
水やり	2, 3日に1回						1日1回						1日2回						1日1回										
	(午前中)						(晴れた日は2回)																						
施肥 置き肥(油カスと骨粉を7:3に混ぜたもの) 液肥(ハイポネックス, またはプラントフッドの1000倍液)	置き肥						液肥						置き肥(少量)						置き肥(骨粉を多く)										
													液肥																
おもな病虫害	ハダニ, グンバイムシ, シンクイムシ																												
植え替えの適期	鉢植え						(苗木)						(さし木苗)																
	庭植え																												
整枝(剪定)	休眠中の針金かけ						枝すかし(摘蕾)						花後の剪定						針金かけ										
													花がら摘み						針金はずし										
さし木	古枝ざし						新梢ざし																						

病虫害の防除

ハダニ, グンバイムシ, シンクイムシに対する防除薬としては, カルホス乳剤, ケルセン乳剤, スミチオン乳剤などがあります。これら3種類以上の薬剤を交互に, 規定の稀釈倍率で散布します。散布は5月~9月の間, 花期を除いて月2回の割合で行います。

花腐れ菌核病に対しては, ベンレート水和剤, またはダイセンステンレスの1000倍液を散布します。